

〔青標紙〕武器及行列具的例

一 乘輿は、東山殿下に初る。○中 扱乗物と駕籠との差別は、駕籠は乗物の腰に、いさゝか籠目あるをいふなり。

〔徳川禁令考三十七〕乗物明和三年正月十五日

駕籠并長柄傘之儀ニ付達

月切駕籠相用候面々、近來乗物にまぎれ、不宜旨御沙汰有之候、諸事元文二巳年四月出候御書付之趣相心得、以來別而乗物にまぎれ、不申様籠目腰通り不殘附、駈と相分、候様致、尤駕籠之者看板色替り候儀も、似寄不申色合、駈と相分候様御心得可有之候。○中略

正月

松平庄九郎

松平縫殿頭

〔守貞漫稿後集三〕駕車夢想窓マムサウ 家居及其他ニモ、巾二寸許ノ板ヲ縦ニ並ベ打ツ、同巾ノ板内面

ニアリ、開クニハ表裏板相累リ、閉ルトキハ表裏各互ニス、將軍駕窓簾中ニ有之、表板ノ裏ニ紗ヲ張ル、親王及紳縉家又官僧ノ駕及び女駕上下トモニ用之、男駕武家ニ上下トモニ幕府ノ外、不見之、唯武家坐罪テ溜ト云獄ニアル者、應前ニ出ルニ、將軍ニ謁スル家格、俗ニ御目見ヘ以上ト云者ハ、駕モノノリ四天昇ヲ用ズ、ゴサ卷ニテ窓白板夢想製也。

〔享保集戒絲綸錄十六〕延寶九酉年七月

駕籠注文

一 長三尺三寸五分

一 横下貳尺四寸、上壹尺八寸五分、

一 軒之出端壹寸五分但四方共